

平成31年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合(古典)	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新編 国語総合 (教育出版)						
副教材等	新総合国語ガイド四訂版 (京都書房)						

1 担当者からのメッセージ

- ・2年生では1年生国語基礎で学んだ古典知識を基礎とし、反復学習及び発展学習に取り組みましょう。
- ・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく内容、心情等を理解するために必要となる語彙力や文法(助動詞・助詞)の知識をしっかりと身につけましょう。
- ・プリントを使った講義、話し合いや記述、発表などのアクティブな活動を取り入れた授業を行います。
- ・復習を必ず行うこと。毎時の復習課題にもしっかりと取り組むこと。
- ・プリント、ノートなどの提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨むこと。

2 学習の到達目標

- ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。
- ・古典を読んで、内容を、構成や展開に即して的確にとらえること。
- ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとら、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。
- ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。
- ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。
- ・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育むこと。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主 たる 評 価 方 法	行動の観察 (授業中の取り組み、積極性等) 記述の点検 (ノート、学習プリント等)	記述の確認及び分析 (ノート、学習プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、学習プリント等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	一年生の復習	【復習プリント】 (一年生で学んだ古典基礎知識や古典文法の確認を行う。) 教材:復習学習プリント ・古典常識、助動詞の働きについて再度確認し、確認する。	○	○	○	a:古典の読む力を進んで高めるとともに、理解や関心を深めようとしている。 b:古典作品に触れ、文化、生活、状況、思想や感情などを理解し、自分の考えを深めている。 c:古文を読み解く上で必要な文語の決まりを身に付けている。	a:行動の観察 b:行動の観察 記述の確認 及び分析 定期考査 c:記述の確認 小テスト 定期考査
	説話に親しむ	説話に触れ、古文の読み方、話の展開や内容の面白さを味わう。 教材: 「児のそら寝」宇治拾遺物語	○	◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:登場人物や、できごと、心情を読み取っている。 c:古語について理解し、重要古語を適切に現代語訳している。	a:行動の観察 記述の点検 b:記述の確認及び分析 定期考査 c:行動の観察 記述の確認 定期考査
	随筆を読む	随筆を読み、作者のものの見方や考え方を知る。また、その考え方について話し合い、理解を深める。 教材:『徒然草』(吉田兼好) 「高名の木登りといひし男」 「仁和寺にある法師」 学習プリント	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b:場所、できごとと登場人物の心情とその変化を読み取っている。また、訪れた家とその主の様子や作者の心情を適切に読み取っている。 c:古語について理解し、重要古語を適切に現代語訳している。	a:行動の観察 記述の点検 b:行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査 c:記述の確認 定期考査
	書き下しと訓読	漢文の読み方を学習し、読む力をつける。また、漢文の文章に触れ、話の展開や内容の面白さを味わう。 教材:学習プリント ・書き下し文・漢字の読み・句法など漢文の基本を確認する。漢文に書かれている語句の意味を理解し、内容を理解する。	○	○	◎	a:我が国の言語文化が、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことを理解し、漢文を読み解こうとしている。 b:漢文や漢詩の組み立てや、骨組みを的確に捉え、漢文を訓読し、書き下し文として読むことができる。また、その漢文の内容を理解し、自分の考えを深め、発展させることができる。 c:漢文に類出する語句の読みと意味を理解し、句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。	a:行動の観察 b:行動の確認 記述の確認 及び分析 定期考査 c:行動の観察 記述の確認 小テスト 定期考査

2 学 期	故事を読む	<p>故事を読み、過去の人物の行動や心情からの教訓を学ぶ。登場人物や動物の様子を通して、故事成語のおもしろさを味わう。</p> <p>教材:「助長」「虎の威を借る狐」 学習プリント ・句法、訓点、再読文字について学習する。</p>	○	○	◎	<p>a: 故事成語を読み、考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。</p> <p>b: できごとと登場人物の心情、教訓となるべきことについて学んでいる。</p> <p>c: 漢文に頻出する語句の読みと意味を理解し、句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。</p>	<p>a: 行動の観察 記述の点検</p> <p>b: 行動の観察 記述の確認 定期考査</p> <p>c: 行動の観察 記述の確認 小テスト 定期考査</p>
	和歌の世界	<p>和歌を読み味わい、鑑賞する。和歌に表れた作者のものの感じ方や、表現の工夫を理解しよう。</p> <p>教材: 四季の歌「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 学習プリント ・和歌の修辞法について学習する。</p>	○	◎	○	<p>a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さ、またそれがもたらす効果に気付こうとしている。</p> <p>b: 人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかを捉え、それぞれの和歌を読み味わうことができている。</p> <p>c: 古語や和歌の修辞について理解し、重要古語を適切に現代語訳している。</p>	<p>a: 行動の観察 記述の点検</p> <p>b: 行動の観察 定期考査</p> <p>c: 記述の確認 小テスト 定期考査</p>
	軍記物語を味わう	<p>軍記物語を読み、登場人物の生き方について読み取る。表現の特色に注意し、軍記物語を読み味わう。</p> <p>教材:『平家物語』 作品冒頭部『祇園精舎』 「宇治川の先陣争い」 学習プリント</p>	○	◎	○	<p>a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。</p> <p>b: 文章に描かれている情景、戦いの様子、教経と知盛の人物像を読み取り、戦いが終わった後の情景について感想を持っている。</p> <p>c: 古語について理解し、重要古語を適切に現代語訳している。</p>	<p>a: 行動の観察 記述の点検</p> <p>b: 行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査</p> <p>c: 記述の確認 定期考査</p>
	物語を読む	<p>物語を読み、登場人物の生き方について読み取る。表現の特色に注意し、物語の作品世界を読み味わう。</p> <p>教材:『伊勢物語』 「芥川」 学習プリント</p>	○	◎	○	<p>a: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、文章の構成や展開を確かめ、言葉の深さに気付こうとしている。</p> <p>b: 人物、情景、心情などを読み取り、どのような旅について記されているかを的確に読み取っている。</p> <p>c: 古語について正しく理解し、重要古語を適切に現代語訳している。また、執筆した作者の意図、文学的位置について読み取り、理解している。</p>	<p>a: 行動の観察</p> <p>b: 行動の観察 記述の確認 定期考査</p> <p>c: 行動の観察 記述の確認 定期考査</p>

3 学 期	唐 詩	漢詩や文章を読み、簡潔で含蓄のある表現を味わう。豊かな詩情や明確な主張を読み取る。 教材：唐詩 「春暁」 「涼州詩」 「送元二使安西」 「春望」	○	◎	○	a:漢詩の簡潔で含蓄のある表現に触れ、情景、心情などを的確に捉え、理解を深めようとしている。 b:それぞれの詩がどのようなことや心情を表現しているかを読み取り、味わっている。 c:漢詩文に頻出する語彙の読みと意味、及び、句法・詩形・押韻を確認しつつ訓読し、現代語訳している。	a:行動の観察 b:行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査 c:行動の観察 記述の確認 定期考査
	近 世 の 紀 行	紀行文を読み、作者が旅に込めた思いについて考える。それぞれの文章に詠まれた句を読み味わう。 教材：『奥の細道』（松尾芭蕉） 「旅立ち」 ・文語文法(用言の活用)を学習する。	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを的確に捉え、読み深めようとしている。 b:作者の「旅」に対する思いと旅立つ準備をする心情を読み取っている。また、旅立ちの時を迎えた作者の様子と心情を読み取っている。 c:古語や発句について理解し、重要古語を適切に現代語訳している。	a:行動の観察 b:行動の観察 記述の確認 定期考査 c:行動の観察 記述の確認 小テスト 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:読む能力 c:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。